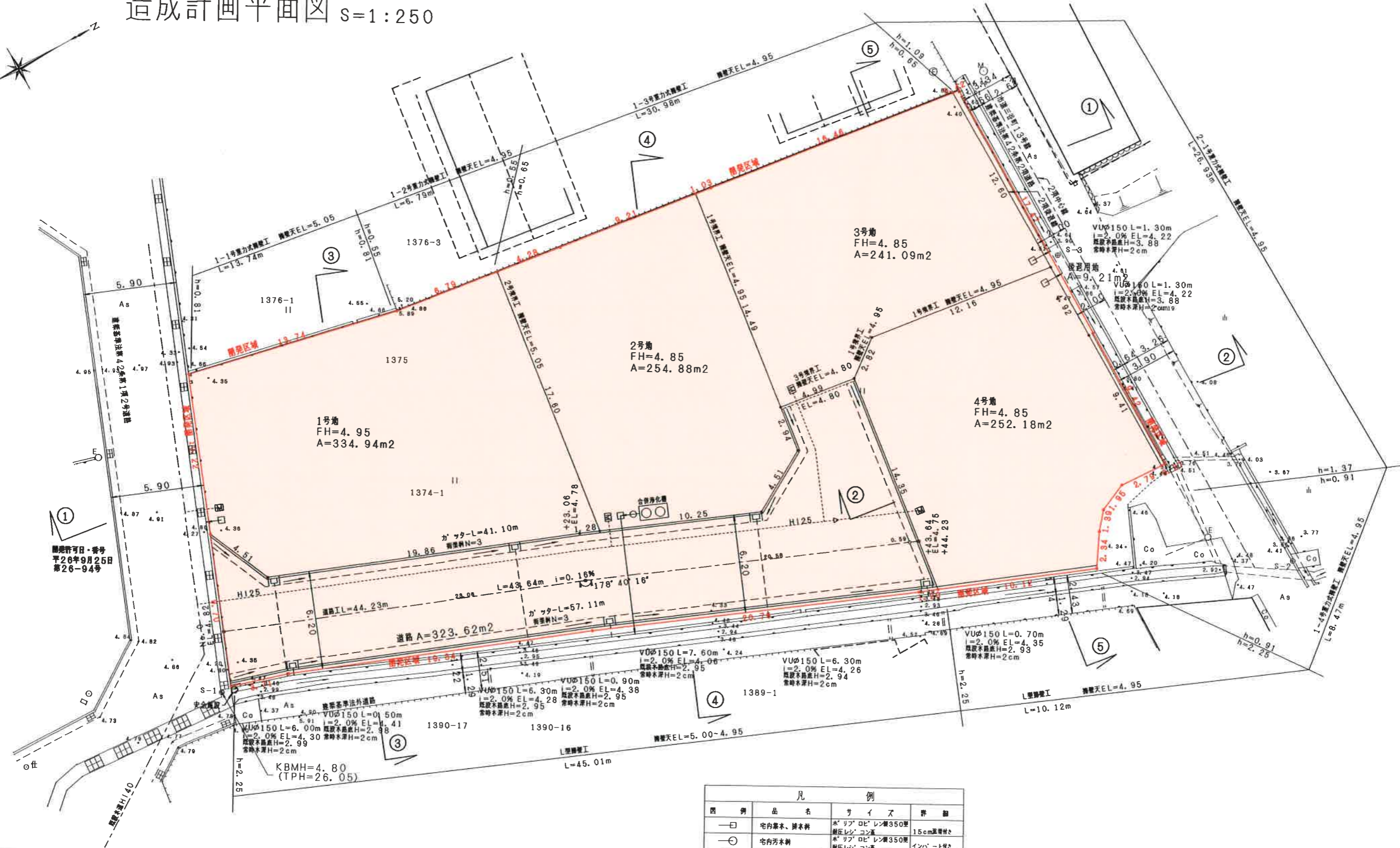


# 造成計画平面図 s=1:250



開地許可日・番号  
平成26年9月25日  
第26-94号

NO	点名	X	Y
10001	S-1	141713.433	52246.663
10002	S-2	141776.498	52272.303
10003	S-3	141773.057	52248.227
20001	3572-20	141682.696	52256.861
20002	3572-21	141666.309	52269.825

図例	品名	サイズ	詳節
□	宅内排水、排水幹	ホリフ・ロビレン350型 縦圧レン・コン	15cm厚層材
○	宅内汚水幹	ホリフ・ロビレン350型 縦圧レン・コン	インバート管
—	排水接続管	VUφ150 i=1.0%以上	宅内排水幹
---	排水接続管	VUφ150 i=1.0%以上	両管幹
—	カッター		現場打5
—	街架幹	フレ-チンク I-14 (管径員0.0m未満) I-25 (管径員0.0m以上)	現場打5
—	水道管	H125	
—	給水管	PEP20	
—	切土		
—	盛土 (良質花崗土)		

※目地材はエラストイト(L=10mm)とし10m以内当り1.0ヶ所とする。  
 ※宅内排水については、できる限り境界付近に設置する。  
 ※宅地の木及び土が道路に流出しないように盛土勾配は最終斜率に向けて整地する事。  
 ※排水接続管(宅内排水幹及び街架幹)においては土被り60cm以下の箇所は管保護(覆)を行う。  
 ※重力式擁壁(道路擁壁除く)の載荷重は3.5kN/m<sup>2</sup>以下とする事。  
 ※「擁壁から50cm以内の区域は、空地として荷重を載せない事。」  
 ※泥だめは15cm以上設ける事。  
 ※雨水を集水する樹には穴あき蓋を使用する事。  
 ※全区画 合併浄化槽による放流(2号地凡例のとおり)  
 ※市道・構造物として側溝の取合せ部は、段差なしの覆付け施工  
 ※宅内排水管の土被りは、20cm以上、勾配1.0%以上とする。  
 ※管交差部のクリアランスは10cm以上とする事。  
 ※開発協議の対家は、最終斜率から放流先までとする。